

☆地域防災拠点施設としての屋内スケート場

YSアリーナ八戸が整備される長根公園は、東日本大震災の際、災害支援物資の広域的な供給拠点となりました。

YSアリーナ八戸は、これまでの災害を教訓とし、災害が発生した際、中地等を避難者の一時滞在施設や災害支援物資の集積所などに活用する、地域の防災拠点施設としての機能を担います。

【防災拠点機能】

- ・数千人の一時滞在施設
- ・災害支援物資の集積所
- ・災害復旧活動拠点
- ・防災倉庫



☆屋内スケート場事業基金

YSアリーナ八戸の利用促進のために寄せられた寄附金（ふるさと寄附金）を基金に積み立て、自主事業や様々なスポーツ教室の開催といった運営に関する事業、備品などの施設環境の整備に活用し、利用者の利便性向上に役立てます。

【活用例】

- ・地域スケート大会の開催
- ・スケート教室の開催
- ・備品整備 など

※ふるさと寄附金については八戸市ホームページ（<http://city.hachinohe.aomori.jp/furusato/>）をご参照下さい。
（ホームページからのお申込みも可能です。）

※YSアリーナ八戸の命名について

八戸市では、長根屋内スケート場のネーミングライツ・スポンサーとして、株式会社吉田産業（八戸市）と契約締結しました。

株式会社吉田産業は、県内唯一のスピードスケート部やアイスホッケーの強豪チームを有する企業です。

「YS」は株式会社吉田産業のシンボルでもあり、地元八戸の企業として、市民の誰もが呼びやすく、親しみのある名称になるようにとの思いが込められています。



YSアリーナ八戸は、野球場や体育館、武道館など、長年地域スポーツの拠点としての役割を果たしてきた、長根公園の中に整備されます。
この長根公園は、当市の中心市街地に隣接しており、中心街の発展や地域振興にも大きく貢献してきました。
YSアリーナ八戸もこれまでの長根公園の歴史を受け継ぎ、スポーツ文化の振興、中心街の発展、地域振興に寄与して参ります。



【所在地・連絡先】

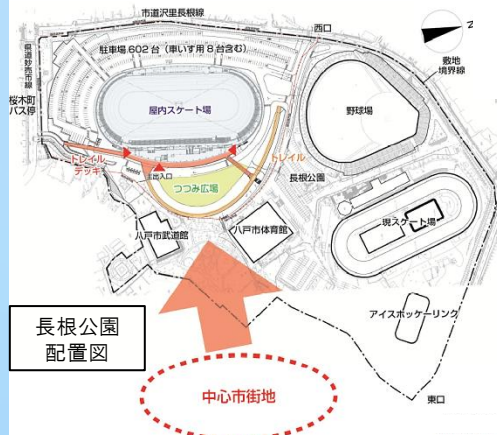
〒031-0073 青森県八戸市大字売市字奥遊下3
（長根公園内）

八戸市長根屋内スケート場

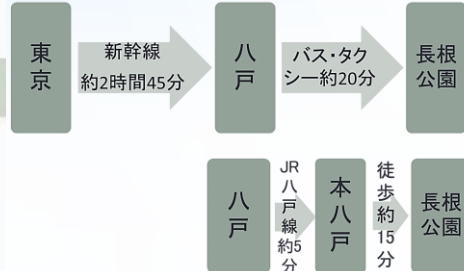
TEL:0178-43-9544

fax:0178-51-8805

E-mail:skate@city.hachinohe.aomori.jp



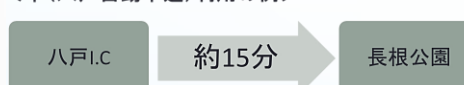
＜電車（JR）利用の例＞



＜飛行機利用の例＞



＜車（八戸自動車道）利用の例＞



八戸市長根屋内スケート場 YSアリーナ八戸

2019年
秋オープン

令和元年9月29日供用開始

建設に至る経緯

- ・八戸市をはじめとする青森県南地域では、スケートが古くから盛んで、生涯スポーツとして広く親しまれており、地域文化の一つとなっています。
- ・その中心であり、「氷都」八戸のシンボルとして長年親しまれてきた、長根公園内のパイピングリンク（長根リンク）の老朽化が著しいことから、八戸市を含めた16市町村と青森県スケート連盟は、県立屋内スケート場誘致推進協議会を平成9年に発足させ、青森県議会議員団や八戸市議会議員連盟など、様々な関係機関のご支援を頂きながら、県立施設としての屋内スケート場の建設を県に要望して参りました。
- ・その後、県による基本構想や基本計画の策定を経て、平成25年12月、屋内スケート場早期建設実現に向けた県との合意により、八戸市が市立施設として整備し、国費を除く地元負担分に係る建設費を県が八戸市へ補助することとなりました。
- ・この合意を受け、八戸市では、平成26年度から整備事業に着手し、令和元年9月29日の供用開始に向けて、長年の悲願である屋内スケート場（YSアリーナ八戸）の整備を進めて参りました。



○建築計画概要

- ・敷地面積：62,274.83 m² ・建築面積：22,308.43 m²
- ・階数：地上3階、地下1階（通路）
- ・高さ：25.40m（天井高 約15m）
- ・延床面積：26,274.00 m²
3階：1,448.72 m² 2階：5,300.71 m²
1階：19,300.47 m² B1階：224.10 m²
- ・構造：鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造
- ・整備費：約126億円
- ・開館期間：通年
- ・リンク開設期間：7月下旬～3月中旬

☆主な施設設備

- アリーナ：約14,000m²
 - ・スケートリンク：国際規格400mダブルトラック 16m幅
 - ・中地：（A）人工芝コート（約33m×約42m）1面
（B）多目的コート（約33m×約42m）1面
 - ・サブリンク（16m×16m）1面
 - ・ランニングコース：3.1m（1.55m×2レーン）
 - ・固定観客席：約3,000席
- ※アリーナ全体活用時約9,000人収容可能
- トレーニング室（約193m²） ●会議室（大、中、小）あり
- ホワイエ（長根ラウンジ）、交流サロン、観戦ロビー
- 駐車場 普通車：約600台 大型バス：6台

第75回国民体育大会冬季大会

スケート競技会・アイスホッケー競技会

～氷都新時代！八戸国体～

銀盤にきたる新風
いま氷都(ここ)に

2020年1月29日
～2月2日開催

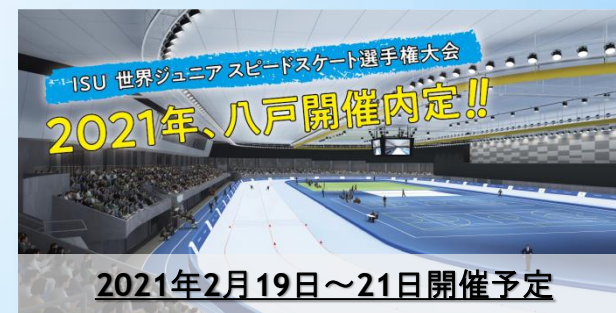


施設のコンセプト

世界水準の
屋内スケート場

みんなの
屋内スケート場

地域防災拠点の
屋内スケート場

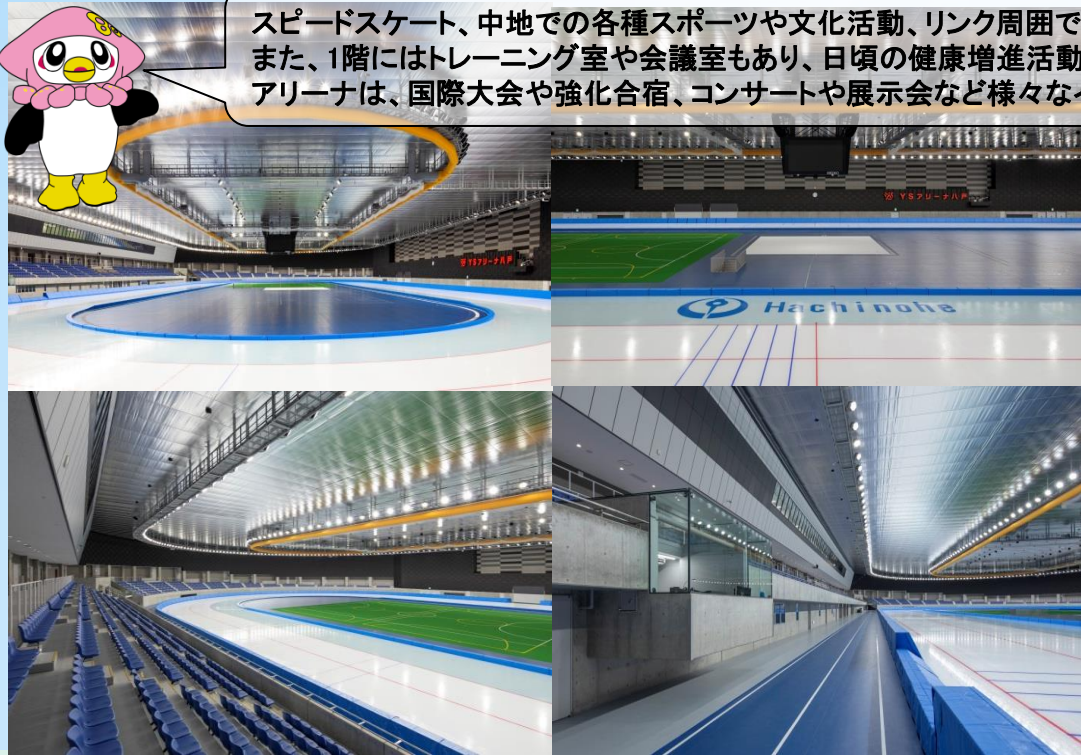


2021年2月19日～21日開催予定

館内施設のご案内

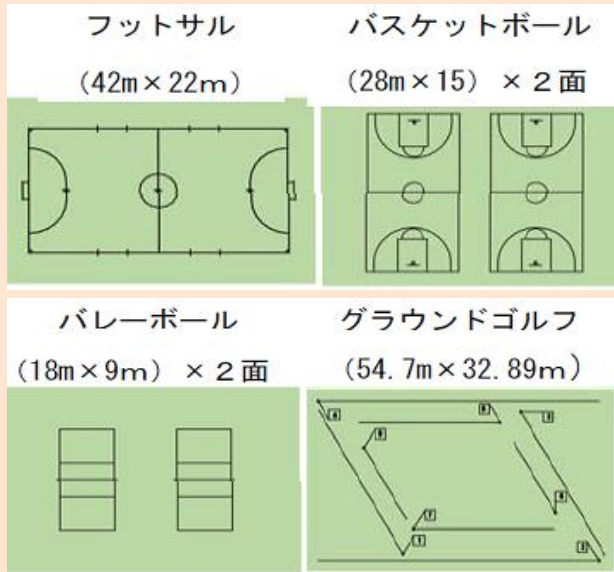
★1階 アリーナ(リンク・中地・サブリンク・ランニングコース ※観客席は2階)

スピードスケート、中地での各種スポーツや文化活動、リンク周囲でのランニングやウォーキングなど多目的に利用できます。
また、1階にはトレーニング室や会議室もあり、日頃の健康増進活動、一般的な会議や地域住民の交流活動などに利用が可能です。
アリーナは、国際大会や強化合宿、コンサートや展示会など様々なイベントの場となります。

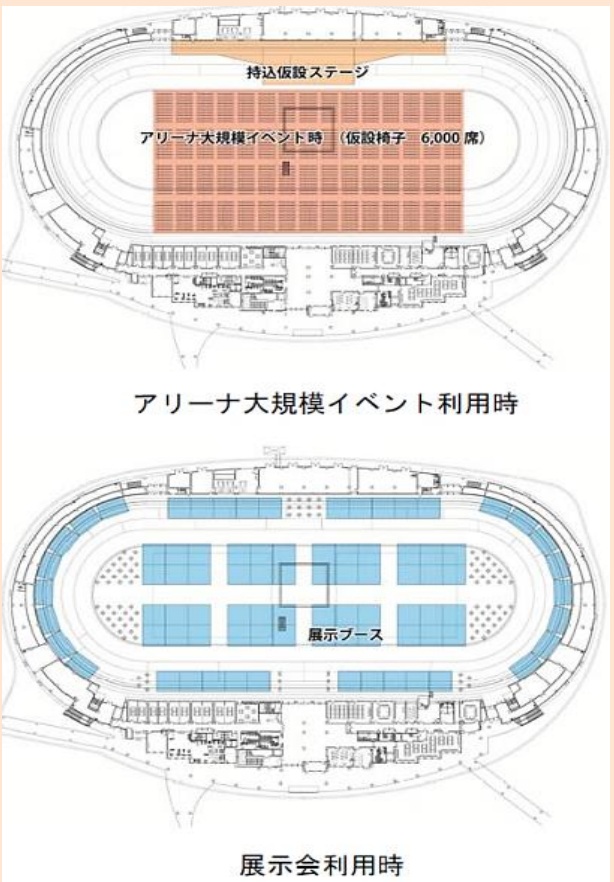


いろんなスポーツもできます。

中地使用例

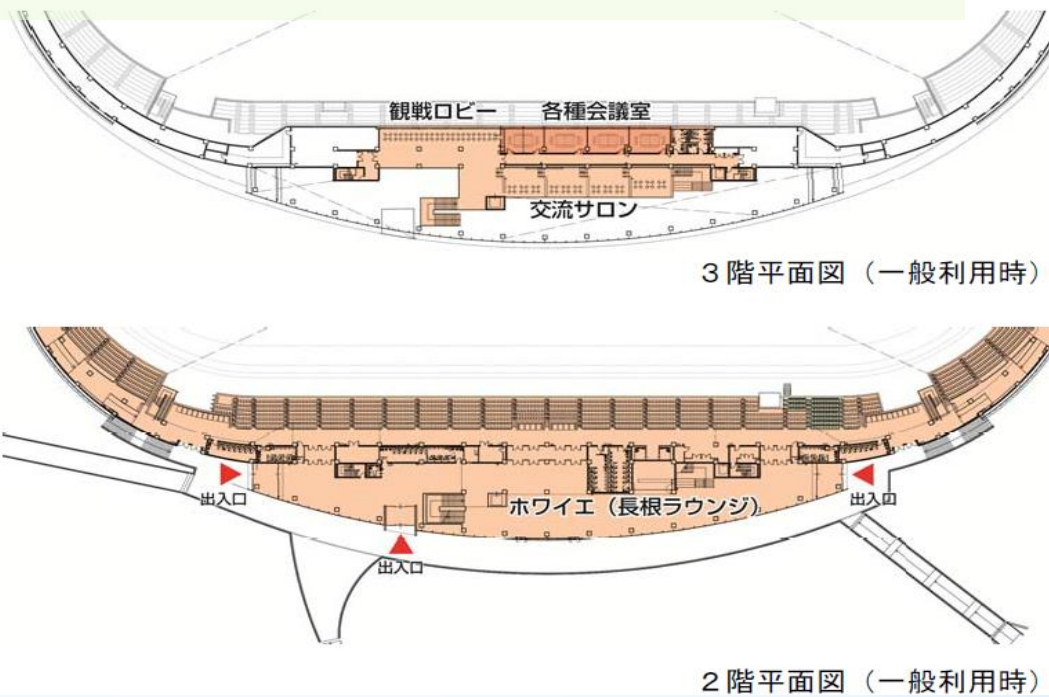


イベント使用例



★2階 ホワイエ、3階 交流サロン

屋内スケート場の玄関となり、来場者や地域住民の憩いの場として、安らぎと交流の場を提供します。



◆◆大会・合宿・イベント年間利用想定◆◆

○10月～3月 スピードスケート大会の誘致、開催

国際大会	国際スケート連盟主催国際大会 オールラウンド・スプリント・ワールドカップ等	数年に1回
国内大会 (全日本)	日本スケート連盟主催大会 全日本選手権・スプリント選手権・ジャパンカップ等	1年に数回
国内大会 (広域)	日本スケート連盟等主催大会 インカレ、東北大会等	1年に数回
国内大会 (地元)	青森県スケート連盟等主催大会 県大会 (高総体など)、県南大会、市大会等	月に数回

○ 4月～6月 イベントの誘致、開催

コンサート	・観客約9,000人のライブコンサートが可能 ・邦、洋、ポップスからクラシック等様々なジャンルに対応
アトラクション	・約14,000㎡、高さ15mの空間を活かしたアトラクション、遊戯が可能
展示会	・最大約80ブースによる展示会、見本市、商談会等が可能
コンベンション	・アリーナ (約14,000㎡) と会議室 (10数室) を一体的に活用した、コンベンション (講演会と分科会、展示会) が可能

○ 7月～9月 夏季強化合宿の受け入れ

- ・高校、大学、実業団等のスピードスケート強化合宿を受け入れ
- ・リンク、ランニング走路、トレーニング室あり



コンサートや展示会もできます。

